

3 ◆ 計画の推進

本県のまち・ひと・しごと創生総合戦略として位置づけられる本計画においては、まち・ひと・しごと創生に関する国のビジョンや総合戦略等との整合を図りつつ、計画に位置づける全ての施策の推進により人口減少対策の効果を上げることを目指していくこととします。

また、計画の実効性を確保するとともに、様々な分野に政策効果を波及させるため、計画に掲げられた施策について、関係部局間の緊密な連携を図りながら、効率的・効果的に実施していくこととします。

さらに、世界共通の目標となっているSDGsの視点を踏まえて取り組みを進めていくことにより、主体となる市町村や企業、関係団体、教育機関等と、SDGsの理念を軸に、課題を共有し、連携することが可能となります。そのため、SDGsの視点も踏まえて、計画を推進していくこととします。

計画を効果的に進めていくためには、施策・事業の実施状況等について検証し、必要に応じて見直し・改善を図っていくことが重要です。そのため、年度ごとに施策・事業の進捗状況の管理を行い、計画の効果的な推進を図ります。

(1) まち・ひと・しごと創生総合戦略としての取り組み

この計画は、まち・ひと・しごと創生法第9条第1項に規定するまち・ひと・しごと創生¹⁴に関する施策についての基本計画の性質もあわせ持っています。

そこで、同条第2項に基づき、次に掲げる4つの基本目標を設定し、本章で掲げた政策体系に位置づける施策をこれらの基本目標のもとに関連付け、政策体系の垣根を越えて分野横断的に推進することにより、あらゆる施策・事業を動員して、デジタルの力を活用しつつ、将来にわたり活力ある地域社会を維持するための「まち」「ひと」「しごと」の創生に取り組んでいきます。

取り組みに当たっては、国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を勘案し、引き続き「地方創生」が全国的な重要政策として中長期にわたり展開されるものであることに鑑み、国と歩調を合わせて、また、国の資金を活用しながら進めていくこととします。

¹⁴ 「まち」の創生：県民が潤いのある豊かな生活を安心して営むことができる地域社会の形成
「ひと」の創生：地域社会を担う個性豊かで多様な人材の確保
「しごと」の創生：地域における魅力ある多様な就業の機会の創出

基本目標 1

魅力あるしごとと、これを支える人材をつくる

数値目標

● 1人当たり県民所得

基準値 2,982千円(2020(令和2)年度) → **3,635千円(2026(令和8)年度)**

◆ 基本的方向

- 人々が「やまなし」に夢を描き、この地に暮らし続けていくためには、経済的な基盤の安定が欠かせず、地域に魅力ある雇用の場を創出することが必要です。
- このため、県内の各産業がデジタル技術の活用等により高い付加価値を生み出し、事業活動における生産性と収益力の向上が県民の所得向上につながるよう支援するとともに、スタートアップの育成や県外からのスタートアップ誘致・定着を図り、企業等と連携して、若年世代が培った能力を十分に発揮しながらやりがいを持って取り組める「活躍のステージ」としての仕事づくりを促進することにより、県内外の人々に「やまなし志向」をもたらす魅力的な雇用の拡大を図ります。
- また、こうした産業と雇用を支える「ひと」の力を確保し、地域経済の活力を維持していくため、教育環境の充実や、AI等の先端技術や知見を有するICT人材の確保・育成を支援し、地元で活躍する産業人材の育成等により、時代にあった人材の確保・創出を進めていきます。
- さらに、働き手のリスクリング（学び直し）を推進し、働く人がその能力を高め、生産力と創造力を生み出し、企業の収益が向上した時は、賃金引上げにより還元される「豊かさ共創」の好循環を構築します。

基本目標 2

やまなしへの新しいひとの流れをつくる

数値目標

● 社会増減(20歳～49歳)

基準値 転出超過 1,209人(2022(令和4)年) → **目標 転出超過数の半減(604人)(2026(令和8)年)**

◆ 基本的方向

- 東京圏への一極集中の傾向が継続する中、本県においても、特に若年世代における転出超過が著しく、人口減少の大きな要因となっています。
- 一方、新型コロナウイルス感染症の影響により、地方への移住や就業の関心が高まっています。
- こうした流れを確実につかみとり、本県が地域の活力と持続性を維持していくためには、地域経済の活性化に加え、域外からひとを呼び込む仕組みを強化することが必要です。
- このような状況を本県への大きなひとの流れにつなげていくため、リニア中央新幹線の開業を絶好の機会として、本県の豊かな自然、特色ある農産物や観光資源といった魅力を最大限活用し、企業誘致や誘客を推進するとともに、若年層を中心としたUターン・Iターンを促して本県への移住・定住を支援することや、都市在住者の「やまなし」への関心と愛着を育みます。
- さらに、デジタルの力を活用して関係人口（デジタル県民）を創出・拡大し、その力を地域づくりに取り込むことにより、本県にひとを惹きつける取り組みを強化していきます。

基本目標 3

結婚・出産・子育ての希望がない、誰もが活躍できるやまなしをつくる

数値目標

●合計特殊出生率

目標 県民希望出生率1.87の早期実現を目指す

◆基本的方向

- 我が国において、人口減少・少子高齢化社会は加速度的に進行しています。2022（令和4）年の人口動態統計によると、合計特殊出生率が1.26と過去最低と並び、出生数も初めて80万人を割り込むという危機的状況にあります。
- これまでの取り組みにより、本県の合計特殊出生率は2020（令和2）年には前年に比べ0.04ポイント改善し1.48へと上昇しました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大による出会いの機会の喪失や産み控えなどの影響から2年連続で下降し、2022（令和4）年の合計特殊出生率は、中長期的な目標としている県民希望出生率1.87から大きく乖離する1.40にまで落ち込みました。
- ようやくコロナ禍を脱して、人々が日常を取り戻しつつあるこのタイミングが、下降トレンドを上昇へ転換させる格好のチャンスであり、今直ちに取り組む必要があります。
- このため、県民が有する全ての叡智を総動員し、県内市町村や地域社会、経済団体と一丸となって、若い世代が希望を叶え、安心して家庭を築ける山梨を実現するため、人口減少対策の取り組みを強化していきます。

基本目標 4

時代にあった地域をつくり、安心なくらしを守る

数値目標

●県民の地域に対する満足度

目標 地域における生活の満足度が高い県民の割合 80%以上(2026(令和8)年度)

◆基本的方向

- ひとが集い、幸せを実感しながら暮らしを送ることができる地域社会を実現するためには、社会経済情勢や自然環境の変化、技術革新の影響など、変化の著しい時代の要請に応じた地域づくりを的確に進める視点を持って、産業や県民生活を支える社会基盤を整え、県民が安心して暮らすことができる地域を創出していく必要があります。
- このため、第4次産業革命による技術革新の成果を地域社会に取り込みつつ、デジタルを活用した医療・介護体制の整備や健康づくり・疾病予防の取り組み、自然環境の保全・地球温暖化対策等の取り組みにより、安心して暮らせる持続可能な社会への転換を図るとともに、道路網の整備や地域公共交通の確保等の交通ネットワークの充実、災害の発生に備えた情報提供体制の整備等により、安全・快適に暮らすことができる「やまなし」をつくり上げていきます。
- また、東京オリンピック・パラリンピック大会の開催を契機としたスポーツの振興や文化芸術の振興などを通じて、健やかで心豊かに暮らすことができるような地域づくりを推進します。
- さらに、デジタルを活用した課題解決型学習の一環として、若年層がまちづくり活動や地域の課題解決その他の公益的活動に参画することを促進・支援し、将来の地域リーダーを育む取り組みを推進します。

◆「山梨県まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標と対応する施策

まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標▶

1 魅力ある しごとと、 これを支える 人材をつくる	2 やまなしへの 新しいひとの 流れをつくる	3 結婚・出産・ 子育ての 希望がかない、 誰もが活躍できる やまなしをつくる	4 時代にあった 地域をつくり、 安心な 暮らしを守る
--	---------------------------------	--	---

▼本計画の基本理念実現のための政策

戦略 1 戦略 1 強靱な「やまなし」を創る道	強靱な「やまなし」を創る道				
	政策 1 ▶ 感染症に強靱な地域づくり				
	新型コロナウイルス感染症の医療提供体制等の充実				●
	新興感染症に対応できる体制の構築及び推進				●
	感染症専門人材の育成と対応力向上	●			●
	山梨県感染症対策センターの拡充				●
	市町村との緊密な協力体制の構築				●
	感染症に強い事業環境づくり	●			●
	政策 2 ▶ 防災・減災、県土の強靱化				
	県土強靱化計画の推進				●
	社会資本整備における中長期的な事業量の明示と着実な実施				●
	公共土木施設等の長寿命化の推進				●
	公共インフラ及び住宅・建築物の耐震化の促進				●
	森林の公益的機能の維持・増進		●		●
	治水・水害及び土砂災害対策の推進				●
	交通強靱化プロジェクトにおける連携と東京圏との交通確保				●
	交通強靱化 2.0 の推進				●
	電力供給体制の強靱化の推進				●
	富士山火山防災対策の研究と普及				●
	富士山防災対策におけるハード整備の推進				●
	富士山防災対策におけるソフト対策の推進				●
	国・県・市町村及び住民の協働による防災・減災の推進				●
	災害廃棄物処理体制の強化				●
	防災意識の向上と自助努力の促進				●
	防災拠点の機能強化				●
	政策 3 ▶ 地域経済基盤の強靱化				
	医療機器関連産業の集積・振興	●	●		
	水素・燃料電池関連産業の集積・振興	●	●		
	企業等の経営体質強化への支援	●			
	事業承継や事業再構築の支援	●			
	中小企業の資金繰りの支援	●			
	地域商業の活性化による賑わいの創出	●			
	観光客の満足度とリピート率の向上	●	●		
	地域資源の掘り起こしと磨き上げの推進	●	●		
	果樹産地との一体的な産地強化策の構築	●	●		
	肥料・飼料や燃油等の物価高騰対策の推進	●			
	家畜の防疫対策				●
	政策 4 ▶ 安全・安心、快適なまちづくり				
	多様な主体の交流・連携による地域づくりの推進				●
	若年層の公益的活動への参画の促進・支援				●
	緑あふれる景観づくりの推進				●
	地域福祉の推進				●
公衆衛生の維持・向上				●	

1 魅力ある しごとと、 これを支える 人材をつくる	2 やまなしへの 新しいひとの 流れをつくる	3 結婚・出産・ 子育ての 希望がかない、 誰もが活躍できる やまなしをつくる	4 時代にあった 地域をつくり、 安心な 暮らしを守る
---	--	---	--

▼本計画の基本戦略実現のための政策

戦略1 「やまなし」を創る道 強靱な	食の安全・安心確保、食育の推進及び食品ロスの削減				●
	救急安心センター（#7199）による救急医療適正化の推進				●
	「動物致死処分ゼロ」に向けた取り組みの推進				●
	北富士演習場対策の推進				●
	消費者施策の総合的な推進				●
	ネットトラブルの防止と被害者保護・救済の推進				●
	安全・安心なまちづくりの推進				●
	電話詐欺（特殊詐欺）の被害防止対策の推進				●
	サイバー空間の脅威に対する総合対策の推進				●
	高齢者の交通事故抑止対策の推進				●

戦略2 活力ある「やまなし」を育む道

戦略2 活力ある「やまなし」を育む道	政策1 ▶ 子育て支援の充実				
	社会全体での効果的な婚活支援の推進			●	
	妊娠・出産の支援			●	
	子育て支援体制の充実			●	●
	保育サービスの充実	●		●	●
	児童虐待防止対策の強化			●	●
	社会的養育の推進			●	●
	政策2 ▶ 共生社会化の推進				
	男女共同参画・女性活躍の推進	●		●	
	県庁における女性管理職登用の推進	●		●	
	シニア世代の働く希望を叶える環境づくりやセカンドステージの活動支援			●	●
	障害者の就労支援の充実			●	
	年齢・障害の有無・性的指向・ジェンダーアイデンティティ等の多様性尊重			●	
	多文化共生社会づくりに向けた支援と環境整備	●	●	●	
	多文化共生コミュニティづくりの推進	●	●	●	
	共生社会で活躍する人材の育成	●	●	●	
	「姉妹都市2.0」への発展				●
	政策3 ▶ 生活基盤の保障				
	「介護待機ゼロ」の取り組みの推進			●	●
	認知症施策の推進				●
	地域医療体制の整備・構築				●
	救急医療体制の確保・充実				●
	医療人材の確保	●			●
	在宅医療・介護の充実				●
	へき地医療の充実・強化				●
	産科・周産期医療の確保			●	●
	災害医療体制の強化				●
	「デジタル医療立県やまなし」の推進				●
	がん対策の推進			●	●
	健康寿命の延伸に向けた健やか山梨21の推進				●
	難病などの疾病対策の推進				●
	国民健康保険等の安定的な運営				●

まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標

1 魅力ある しごとと、 これを支える 人材をつくる	2 やまなしへの 新しいひとの 流れをつくる	3 結婚・出産・ 子育ての 希望がかない、 誰もが活躍できる やまなしをつくる	4 時代にあった 地域をつくり、 安心な 暮らしを守る
--	---------------------------------	--	---

▼本計画の基本戦略実現のための政策

戦略2 活力ある「やまなし」を育む道	歯科保健の充実				●	
	障害者支援体制の充実				●	
	政策4 ▶ 困難から脱却・再挑戦に開かれた社会づくり					
	不登校児童生徒の居場所の確保や支援の充実			●		●
	ひきこもり対策の推進					●
	依存症からの脱却の支援					●
	子どもの貧困対策の推進			●		●
	総合的な自殺防止対策の展開					●
	青木ヶ原樹海のイメージアップの推進					●
	政策5 ▶ 地域を担う人財づくり					
	「やまなしキャリアアップ・ユニバーシティ」構想の推進	●				
	全ての県民のデジタル・リテラシーの向上					●
	ICT人材の確保・育成の支援	●				
	DX人材育成エコシステムの形成	●				
	人材確保対策の推進	●	●			
新時代の観光業を支える人材の育成	●					
農畜水産業の人材の確保・育成	●					
林業の人材の確保・育成	●					
次代のやまなしを支える人材の育成	●					
技術系人材の育成・確保	●					
建設産業の担い手確保に向けた魅力発進	●					
働き方改革の推進	●		●			
戦略3 開かれた「やまなし」へ集う道	開かれた「やまなし」へ集う道					
	政策1 ▶ 海と空に開かれた「開の国」交通ネットワークの充実					
	リニア駅周辺における広域的な交通結節機能の構築					●
	総合的な公共交通の構築とシームレスな移動手段の確保への取り組み					●
	新技術の活用による移動ストレスの極小化に資する研究					●
	高速道路ネットワーク等の整備の促進					●
	県内各地域をつなぐ道路ネットワーク整備の推進					●
	市町村における道路整備・メンテナンスの技術力向上への支援					●
	政策2 ▶ 「自然首都圏」創出のための基盤整備					
	「富士五湖自然首都圏フォーラム」の推進	●	●			
	移住の推進		●			
	二拠点居住の推進		●			
	良好な住宅ストックの整備		●	●		
	防災バックアップやまなしの推進		●			●
	政策3 ▶ 「上質な空間」づくり					
脱炭素でレジリエントなエネルギー構造への転換					●	
グリーンかつスマートな社会経済システムへの転換	●				●	
県民・事業者の脱炭素社会に向けた行動変容	●				●	
県庁における県有施設の脱炭素化					●	
太陽光発電と環境の調和の推進					●	
河川や湖沼の環境保全に向けた取り組みの推進					●	

まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標

1 魅力ある しごとと、 これを支える 人材をつくる	2 やまなしへの 新しいひとの 流れをつくる	3 結婚・出産・ 子育ての 希望がかない、 誰もが活躍できる やまなしをつくる	4 時代にあった 地域をつくり、 安心な 暮らしを守る
---	--	---	--

▼本計画の基本戦略実現のための政策

戦略3 「やまなし」へ集う道 開かれた	良好な生活環境を保全するための取り組みの推進				●
	ゴルフ場開発に関する規制の運用の合理化を検討				●
	世界文化遺産富士山の普及啓発		●		●
	世界文化遺産富士山の価値と環境の維持向上		●		●
	富士登山者に向けた安全対策の実施		●		●
	プラスチックごみ対策の推進				●
	不法投棄の防止対策の推進				●
	生物多様性に富んだ自然共生社会の推進				●
	野生鳥獣の適正な管理の推進				●

戦略4 躍動する「やまなし」へ進む道

政策1 ▶ 地域を担う人材づくり【再掲】

「やまなしキャリアアップ・ユニバーシティ」構想の推進【再掲】	●			
全ての県民のデジタル・リテラシーの向上【再掲】				●
ICT人材の確保・育成の支援【再掲】	●			
DX人材育成エコシステムの形成【再掲】	●			
人材確保対策の推進【再掲】	●	●		
新時代の観光業を支える人材の育成【再掲】	●			
農畜水産業の人材の確保・育成【再掲】	●			
林業の人材の確保・育成【再掲】	●			
次代のやまなしを支える人材の育成【再掲】	●			
技術系人材の育成・確保【再掲】	●			
建設産業の担い手確保のに向けた魅力発進【再掲】	●			
働き方改革の推進【再掲】	●		●	

政策2 ▶ 教育の充実

少人数教育の推進	●		●	
子ども主体の授業への転換に向けた取り組みの推進	●		●	
ICTを活用した教育の充実	●			●
県立高校における情報教育の強化	●			●
教員が意欲を持って働き続けられる環境の整備	●		●	
不登校の起こらない教育環境の充実			●	●
山村留学の支援		●	●	
可能性を伸ばす教育行政の推進	●		●	
私立学校の振興	●		●	
学力向上に向けた取り組みの推進	●		●	
心豊かな青少年の育成	●		●	
社会教育の推進	●		●	
産業人材の育成に向けた高校教育の充実	●		●	
コミュニティ・スクール等の導入の推進	●		●	
一人ひとりに応じた特別支援教育の推進	●		●	

政策3 ▶ 共生社会化の推進【再掲】

男女共同参画・女性活躍の推進【再掲】	●		●	
県庁における女性管理職登用の推進【再掲】	●		●	
シニア世代の働く希望を叶える環境づくりやセカンドステージの活動支援【再掲】			●	●

戦略4
躍動する「やまなし」へ進む道

まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標

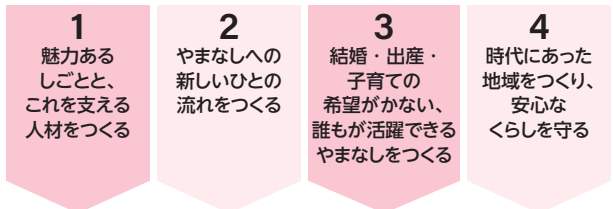
1 魅力ある しごとと、 これを支える 人材をつくる	2 やまなしへの 新しいひとの 流れをつくる	3 結婚・出産・ 子育ての 希望がかない、 誰もが活躍できる やまなしをつくる	4 時代にあった 地域をつくり、 安心な 暮らしを守る
--	---------------------------------	--	---

▼本計画の基本戦略実現のための政策

戦略4 「やまなし」へ進む道 躍動する	障害者の就労支援の充実【再掲】			●	
	年齢・障害の有無・性的指向・ジェンダーアイデンティティ等の多様性尊重【再掲】			●	
	多文化共生社会づくりに向けた支援と環境整備【再掲】	●	●	●	
	多文化共生コミュニティづくりの推進【再掲】	●	●	●	
	共生社会で活躍する人材の育成【再掲】	●	●	●	
	「姉妹都市 2.0」への発展【再掲】				●

戦略5 先進地「やまなし」を叶える道

戦略5 先進地「やまなし」を叶える道	政策1▶地域経済の収益力向上				
	水素エネルギー社会実現に向けた実証研究、次世代エネルギーシステムの構築	●	●		
	スタートアップ創出・誘致・定着の促進	●	●		
	「テストベッドの聖地やまなし」の展開と社会実装の支援	●	●		
	企業立地の促進	●	●		
	ライフスタイル・プロダクトの推進	●			
	世界の銘醸地 山梨の確立	●			
	地域ブランドプロモーションの推進	●			
	「デザイン先進県」の構築	●			
	「高付加価値型の観光産業」への進化の促進	●	●		
	新たな品種開発・品質向上と供給体制の確立	●			
	輸入原料を使った肥料・飼料の使用量低減の推進と安定供給体制の構築の検討	●			
	データ農業とスマート農業の実用化及び普及に向けた取り組み	●			
	エシカル消費層に応える先駆的取り組みの推進	●			
	農畜水産業の収益力を強化するための流通対策	●			
	農畜水産業の収益力を強化するための販売対策	●			
	農畜水産業の収益力を強化するためのブランド化の推進	●			
	林業経営体の強化	●			
	県産材供給力の強化	●			
	県産材の需要の拡大	●			
	特用林産物の産地化の推進	●			
	森林空間の高度活用	●	●		
	政策2▶文化芸術の振興				
	県民参画による文化芸術活動の促進				●
	クリエイターの拠点整備と活動支援	●			●
	無形民俗文化財の継承と振興				●
	史跡等文化財の適切な継承と保存による地域活性化				●
	価値の創造拠点としての県立美術館の確立				●
	美酒美食プロジェクトの取り組み	●	●		
山梨の食のブランド力強化	●	●			
飲食店等の集積とレベルアップの促進	●	●			
山梨の美酒美食の国際的な展開	●	●			
地域特性を生かした文化創造への取り組み				●	
文化芸術の総合的な振興				●	



▼本計画の基本戦略実現のための政策

政策3 ▶ スポーツの振興		1	2	3	4
「やまなし」を叶える道 戦略5 先進地	誰もがスポーツに親しめる環境づくり			●	●
	パラスポーツを楽しめる環境づくり			●	●
	「ちょいトレ」プロジェクトの推進			●	●
	青少年のスポーツ振興の環境整備			●	●
	「未来のトップアスリート」の発掘・育成			●	●
	「スポーツで稼げる地域づくり」の推進	●	●		
	スポーツツーリズムの推進		●		
	サイクル王国やまなしの実現		●		
	国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の推進		●		

(2) 持続可能な開発目標(SDGs)の視点と政策体系の関係

持続可能な開発目標 (SDGs) は、2015 (平成 27) 年に国連サミットにおいて、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のための国際目標として、全会一致で採択されました。

SDGs では、極端な貧困を含む、あらゆる形態と側面の貧困を撲滅することが最大の地球規模の課題であり、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指としています。

国においては、2016 (平成 28) 年に持続可能な開発目標 (SDGs) 実施指針を策定するとともに、地方自治体においても、様々な計画の策定に当たって、SDGs の要素を最大限反映するよう促しています。

本県では、2022 (令和 4) 年に SDGs 推進本部を設置し、全庁的な SDGs 推進体制を構築するとともに、様々な事業体を構成員とした「やまなし SDGs 推進プラットフォーム」を設立して、県内企業等の SDGs の達成に向けた取り組みを支援するなど、全県的な SDGs 推進の取り組みを進めています。

2023 (令和 5) 年 5 月には、内閣府が SDGs の理念に沿った基本的・総合的取り組みを推進しようとする都市・地域の中から、特に、経済・社会・環境の三側面の統合的取り組みによる相乗効果、新しい価値の創出を通して、持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市・地域として「SDGs 未来都市」に選定されています。

本計画の推進に当たっては、SDGs における 17 のゴールと政策体系の関係を示すことにより、SDGs でも想定している多様な主体と目標を共有し、施策・事業に取り組んでいきます。

図表 10 SDGs における 17 のゴール

ゴール			ゴール		
1		貧困をなくそう	10		人や国の不平等をなくそう
2		飢餓をゼロに	11		住み続けられるまちづくりを
3		すべての人に健康と福祉を	12		つくる責任つかう責任
4		質の高い教育をみんなに	13		気候変動に具体的な対策を
5		ジェンダー平等を実現しよう	14		海の豊かさを守ろう
6		安全な水とトイレを世界中に	15		陸の豊かさも守ろう
7		エネルギーをみんなに そしてクリーンに	16		平和と公正をすべての人に
8		働きがいも経済成長も	17		パートナーシップで目標を達成しよう
9		産業と技術革新の基盤をつくろう	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS		

図表 11 山梨県総合計画の政策体系と持続可能な開発目標 (SDGs) の 17 のゴールの関係

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																			
戦略1	①感染症に強靱な地域づくり			●								●						●	
	②防災・減災、県土の強靱化	●	●							●		●		●			●		●
	③地域経済基盤の強靱化	●	●					●	●	●	●	●							●
	④安全・安心、快適なまちづくり		●	●	●		●				●	●	●				●	●	●
戦略2	①子育て支援の充実	●		●	●	●			●		●	●						●	●
	②共生社会化の推進	●		●	●	●			●		●	●						●	●
	③生活基盤の保障	●	●	●	●	●			●	●	●	●						●	●
	④困難からの脱却・再挑戦に開かれた社会づくり	●	●	●	●				●		●							●	●
	⑤地域を担う人財づくり	●			●	●			●	●	●		●						●
戦略3	①海と空に開かれた「開の国」交通ネットワークの充実									●		●							●
	②「自然首都圏」創出のための基盤整備				●			●	●	●		●		●					●
	③「上質な空間」づくり			●	●		●	●	●	●		●	●	●	●	●			●
戦略4	①地域を担う人財づくり【再掲】	●			●	●			●	●	●		●						●
	②教育の充実	●			●	●			●	●	●							●	●
	③共生社会化の推進【再掲】	●		●	●	●			●		●	●						●	●
戦略5	①地域経済の収益力向上							●	●	●		●	●	●		●			●
	②文化芸術の振興				●				●	●	●	●							●
	③スポーツの振興			●	●				●	●	●	●							●

(3) 計画の進捗状況の管理

① 計画の進捗状況の評価

毎年度、各施策事業の実施状況や成果を把握するとともに、施策ごとに設定した成果指標の達成状況を確認し分析することにより、計画の進捗状況について総合的に評価します。

② 評価結果の公表等

計画の推進に関して意見をいただくため、県議会及び政策評議会に評価結果を報告します。

また、県ホームページを通じて評価結果を県民に広く公表するとともに、県民との対話等を通じて県民ニーズの的確な把握に努めます。

③ 施策・事業等の改善・見直し

評価結果について、県議会等の意見や県民ニーズも踏まえ、翌年度以降の予算編成や、組織の見直し、施策事業の展開に反映していきます。